

企業経営研修コース [EPCM]

2024年7月24日-8月6日

コースディレクター:

伊藤 彰敏 南山大学 経営学部経営学科 教授



東京大学卒。慶應義塾大学大学院においてMBA、ウェスタン・オンタリオ大学アイヴィー経営大学院においてPh.D.を取得。一橋大学大学院経営管理研究科にて教授を務める。研究はコーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンス、SDGs、情報開示、価値評価等。論文・著書多数。企業や政府組織向けの研修プログラム開発を数多く担当。

アソシエイトコースディレクター:

矢作 恒雄 慶應義塾大学 名誉教授



慶應義塾大学卒。三菱商事(株)勤務後、スタンフォード大学にてMBA(優秀賞)、MS(統計学)、Ph.D.(全米経営学博士論文優秀賞)を取得。中堅企業経営、ベンチャービジネスの起業・経営を経て、慶應義塾経営大学院教授、大学院長、財務・一貫教育校担当常任理事、ニューヨーク学院理事長を務める。日米企業の外部役員、政府・地方自治体・公益財団法人等の委員・役員・顧問などを歴任。1983年、本EPCMプログラム発足以来2022年までコースディレクターを務めた。

本コース(EPCM)は、日本企業の多くが採用する経営手法の中でその優秀性が検証済みの手法とその根底にある考え方を学ぶために設計された、AOTSの代表的かつ最も人気のあるコースです。発展途上国の企業経営者を対象に、実践的経営能力の向上を目的に1983年に開講され、参加者はこれまでに世界各国から1,000名を超えます。今年で44回目(うち2回はオンライン)となり、コースディレクターに伊藤彰敏先生、そして開講以来長年コースディレクターを務めてこられた矢作恒雄先生のご指導のもとでの実施となります。

■ 目的

本コースは、経営幹部である参加者の企業トップとしての経営者能力の向上を図ることで、参加者の企業の経営そのものの質的向上の実現を目指します。

■ ハイライト

- 本コースでは**ケースメソッド**を採用し、参加者は様々な国の人々と意見交換します。
- 参加者は各ケースの**複雑な経営意思決定に実際に関わっていると想定しながら、講師を交え徹底した討論**をすることで、経営者能力を高めることができます。



コーススケジュール

日付	内容
7/24 (水)	開講式 [ケース討論] 日本的経営
7/25 (木)	[ケース討論] 経営のための経済学
7/26 (金)	[ケース討論] 企業倫理
7/27 (土)	[ケース討論] マーケティング
7/28 (日)	休日
7/29 (月)	企業見学 [訪問] 経営者討論
7/30 (火)	企業見学 [訪問] 日本企業における企業理念
7/31 (水)	企業見学 [訪問] 中小企業における経営戦略
8/1 (木)	企業見学 [訪問] 企業理念・企業発展
8/2 (金)	[ケース討論] イノベーション・競争戦略
8/3 (土)	[ケース討論] 人的資源・組織マネジメント
8/4 (日)	休日
8/5 (月)	[ケース討論] 財務管理
8/6 (火)	[特別講演] 企業経営 [最終発表会]

※プログラムやスケジュールは変更される場合があります。

申込先:

AOTS 企業連携部 研修・派遣業務グループ

Tel: 03-3888-8221

Email: kigyo-inquiry-az@aots.jp

問合せ:

AOTS 海外統括部 海外協力第1グループ

Tel: 03-3888-8256

Email: shouhei-au@aots.jp

開催地:

AOTS 東京研修センター (TKC)

研修センターは、研修施設と宿泊施設 / 研修参加者のための宿泊施設
および食事を提供します。(住所: 東京都足立区千住東1-30-1)



参加対象者

役員クラスの上級管理職で、その組織運営に全責任を有する者。

参加人数

20名

言語

英語

(日本語/英語の通訳がつくこともあります)

英語による自分の意見の表明ができることが必須です。本プログラムを十分に実感していただくためには、ディスカッションへの積極的な参加が必要です。

参加費

参加費は日本政府から一部補助されます。詳しくはお問い合わせください。

申込締切

2024年5月20日

2024年5月20日日本着分まで



過去に実施された同コースの動画

応募詳細は、2024年4月付「募集要項 企業経営研修コース (EPCM)」をご確認ください。